

<領域：人間と社会>

人間の尊厳と自立

問題 1 1960年代後半からアメリカで展開した自立生活運動に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害者自身の選択による自己決定の尊重を主張している。
- 2 障害者の自立生活は、施設や病院で実現されるとしている。
- 3 「ゆりかごから墓場まで」の実現に向けた制度設計を目指している。
- 4 障害者が機能回復を図ることを「自立」としている。
- 5 介護者を生活の主体者として捉えている。

問題 2 Aさん(65歳, 男性, 要介護2)は, 昨年, アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断された。妻は既に亡くなり, 娘のBさん(35歳)は遠方に嫁いでいる。Aさんは, 現在, 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)で生活している。Aさんは介護福祉職に対して, 「Bは頭もいいし, かわいいし, きっと妻に似たんだな」とよく話していた。

Bさんが面会に来た時, 「誰だい。ご親切にありがとうございます」というAさんの声と, 「私はあなたの娘のBよ, 忘れちゃったの」「お父さん, しっかりしてよ」と怒鳴るBさんの声が部屋から聞こえた。

介護福祉職がAさんへのアドボカシー(advocacy)の視点からBさんに行う対応として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 Aさんへの行動は間違っていると話す。
- 2 Bさんに対するAさんの思いを話す。
- 3 Aさんの成年後見制度の利用を勧める。
- 4 Aさんとはしばらく面会しないように話す。
- 5 Bさんの思いをAさんに伝えると話す。